

令和7年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	地理歴史	科目名	日本史探究	単位数	2	履修学年・クラス	3学年A科・C科
担当者		使用教材	「高等学校 日本史探究」(第一学習社)、「ダイアログ歴史総合」(第一学習社)				
学習目標	①我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解し、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 ②我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察することができる。 ③我が国の歴史の展開に関わる諸事象から、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。						
	①学習シートを活用し、歴史の事象についての知識を身に付ける。 ②単元のまとまりごとに課題を設定し、資料やデータ等から考察を加え、自分の考えを発表する。 ③歴史的事象を現代の課題を結びつけて考え、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての自覚を持つ。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。				
	思	思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。				
	態	主体的に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期 中間	第1章 原始・古代の日本と東アジア 第1節 日本文化の黎明 第2節 ヤマト政権と律令国家の形成 第3節 律令国家の姿	・旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。 ・国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解する。 ・貴族政治の展開、文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。	○	○	○	原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取り、表現する。 ・中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト
	第2章 中世の日本と世界 第1節 中世への転換 第2節 鎌倉幕府の展開	・貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の展開を理解する。 ・武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解する。	○	○	○	権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・時代の転換に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 ・公武関係の変化、宋・元(モンゴル帝国)などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	
前期 期末	第3節 室町幕府の展開	・武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地方権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。				・社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	
	第3章 近世の日本と世界 第1節 近世への転換 第2節 幕藩体制の確立 第3節 幕藩体制の展開 第4節 社会の変化と幕府の対応	・織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解する。 ・法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係などを基に、幕藩体制の確立の特色を理解する。 ・支配秩序の形成と身分制、技術の向上と開発の進展、産業の発達、学問・文化の発展を基に、近世の社会・文化の特色を理解する。 ・飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。	○	○	○	・時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 ・近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取り、表現する。 ・織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化の関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組む。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
後期 中間	第4章 近現代の地域・日本と世界 第1節 近代への転換 第2節 近代国家の形成 第3節 国際関係の推移と近代産業の発展 第4節 第一次世界大戦と日本 第5節 軍部の台頭と戦争の長期化	・対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解する。 ・明治維新、文明開化の風潮、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、日本が立憲体制に移行したことや、明治初期の文化の特色について理解する。 ・条約改正、日清・日露戦争、産業革命の展開、交通の整備、学問の発達、教育制度の確立、社会問題の発生などを基に、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、近代の文化や社会の特色について理解する。 ・第一次世界大戦、産業構造の変化、社会運動の動向、政党政治の展開、学問の発展や教育制度の拡充などを基に、国際社会との関係の変容や、産業の発展の影響や大衆社会・文化の形成を理解する。 ・恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。	○	○	○	・時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 ・近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取り、表現する。 ・アジアや欧米諸国との関係、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、政党政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組む。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト
	第6節 日本の再建 第7節 経済の発展 第8節 経済大国とグローバル化	・占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興などを基に、我が国の再出発及び国民生活の変容を理解する。 ・アジア諸国との関係、高度経済成長などを基に、政治・経済や対外関係、国民生活の変容を理解する。 ・社会・経済・情報の国際化などを基に、1970年代以降の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解する。	○	○	○	・第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本経済の発展について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・国際社会の変化、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
後期 期末	第5章 現代の日本の課題の探究	・歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を理解する。				・歴史の画期、地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係、それ以前の時代からの継続や変化などに着目して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察、構想して表現する。 ・諸資料を活用し、現代の日本の課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	